



令和7年春の議会報告会を開催

～議員が市民のみなさまと意見を交換しました～

予算審査や2年間の研究成果を報告！

4月20日、パルテノン多摩・オープンスタジオにて春の議会報告会を開催しました。36名の市民のみなさんにご参加いただきました。



逐次追加型の今年度予算

予算審査の報告では、市が厳しい財政状況を強調し、既存の事業に重点を置き、新規・レベルアップ事業については多くを補正予算などで逐次追加していくとしたことなど、予算全体の概要とともに、今年度予算の特徴などが紹介されました。

質疑応答では、「補正予算で成立した非課税世帯等へのエアコン購入助成が暑くなる前に行えないのか」、「補聴器の購入補助を行ってほしい」といった質疑があり、市議会でも同様の趣旨で質疑が行われ、市に対応を求めていることなどが報告されました。

各委員会での意見交換

その後、各委員会単位で意見交換を行いました。

総務常任委員会では、DXによる業務改善とセキュリティ対策についての意見があり、「ガバメントクラウド^{※2}がインターネットと接続しない構造となっていること」、「セキュリティ対策については、今後も改めてヒアリングしたい」など答えました。

健康福祉常任委員会では、「認知症カフェをどのように増やすのか」、「ヘルパーや要約筆記者の処遇改善」について質問があり、「マッチングの仕組みをつくり民間とも協力して進めたい」、「ヘルパーについては国に働きかけたい、要約筆記者については労働ではなく報奨金という形式であり課題がある」と答えています。

生活環境常任委員会では、「ミニバスの路線廃止に納得がいかない、坂がちな地形や生活の足としての必要性などを勘案して存続して欲しい」といった意見があり、「路線廃止は決定ではなく協議段階であること」、「必要性については議会も同じ思いであること」、「国に働きかけたい」などのやり取りがありました。

子ども教育常任委員会では、「乳幼児の家庭訪問について」、「家事育児のサポーター支援事業の補助金が低すぎることにについて」などの質問・意見があり、「産後ケアの訪問や家事支援の事業を市が行っている」、「補助金が低く受け手がいないということは課題、調査を行う」といったやり取りがありました。

2年間の研究成果、市へも提案

つぎに、各常任委員会の研究テーマ報告では、各委員長から「市民生活と市の業務に関するDX^{※1}について（総務）」、「認知症の方及びそのご家族が地域で安心して暮らすための支援について（健康福祉）」、「地域公共交通について（生活環境）」、「子ども・若者への支援について（子ども教育）」について、2年間のテーマ選定の過程や視察や勉強会で学んだこと、所管事務調査報告とあわせて、市側に働きかけた内容などが紹介されました。



(※1) DX(デジタルトランスフォーメーション)とは…ICT(情報通信技術)の普及によって、あらゆる方面から人々の生活を良い方向に変化させること

(※2) ガバメントクラウドとは…行政機関が共通して利用する、高度なセキュリティ基準を満たしたネットワーク上のサービス利用の仕組みのこと